

「地域の文化継承活動 助成事業」

地域と学校の文化活動を応援します

この事業は、「次代を担う子どもたち」と「地域の皆様」が一体となった教育活動や文化継承活動を支援するため、活動資金の一部を助成するものです。

「長野県内の小中学校」と「地域の皆様」による交流・連携が一層充実したものとすることを旨とし、2026年度も継続して実施いたします。今後、ホームページなどで募集のご案内をしていきますので、たくさんのご応募をお待ちしています。



詳細は、
ウェブページを
ご参照ください。

<https://www.82bunka.or.jp/grant/>

2025年度 助成先一覧表 (申込順)

助成先	交流・連携先	事業名
長野市立戸隠小学校	とがくしっこ応援団 戸隠を知る会 戸隠地質化石博物館 (一社) 戸隠観光協会 環境省戸隠自然保護官事務所	戸隠のひと・もの・こと・場の継承 (戸隠大根販売・クロスカントリーによる自然体験)
南木曾町立南木曾小学校	南木曾ろくろ工芸協同組合 田立和紙保存振興会 ウッディークリエイティブナギソ	ろくろ細工・田立和紙・檜のカンナくずを利用した 造花づくり
小谷村立小谷小学校	おたり塩の道の会 信州小谷太鼓 小谷民謡保存会	塩の道遠足・おやき・しめ縄・小谷甚句・小谷太鼓
学校法人軽井沢風越学園	妙順寺住職 (古屋野順友)	太鼓文化 (御諏訪太鼓ほか)
伊那市立高遠小学校	桜奏会 高遠囃子保存会婦人部	高遠囃子 (太鼓・三味線・大皮・横笛・鼓)
緑ヶ丘小学校 子ども神楽教室	長野市立緑ヶ丘小学校	地域に伝わる獅子舞と神楽囃子
中野市立平野小学校	(一社) 日本朗読検定協会 (今井理恵子) ピアニストの兵隊さん (古畑博子) 十三崖地下壕保存と中野の戦争を語り継ぐ会 (浦井純生) 徳永泰男	「戦争」を経て「平和」を築き上げてきた先人の 思いを継ぐ (平和学習・社会見学)
上田市立東塩田小学校	コゲラの里工房 (総武忠造) 尾澤木彫美術館 上田市立美術館	農民美術、山本鼎
飯田市立龍江小学校	今田人形の館 今田人形座座長 (澤柳太門) 今田人形保存会会長 (鳴海和彦)	今田人形
諏訪市立諏訪南中学校	南中カリンの会	カリン (マルメロ) の栽培と活用

【支援の対象となる文化継承活動】「長野県内の小中学校」と「地域内の個人・団体」による地域一体となった取り組み

- 地域に根差した伝統文化、民俗芸能、郷土の歴史、食文化等の保存と伝承
- 地域の文化活動を目的とした、まちづくり、自然保護、環境保護のための活動

世界に一つだけの「こっば人形」 上田市立東塩田小学校

上田市立東塩田小学校6年1組の児童のみなさんは、令和7年4月から、上田市の伝統工芸である農民美術とその創始者、山本鼎について、美術館を訪問したり作り手のお話を聞いたりして理解を深めてきました。更に、農民美術の一つである「こっば人形」(木片を利用した手のひらサイズの素朴な木彫りの人形)の制作を通じて「自由に発想してつくる」山本鼎の精神と「美術を学んで収入をつくる」農民美術の原点を体験しました。大きさも形も様々で、それぞれ豊かな個性がある「こっば人形」を見学して作りたいテーマを膨らませ、9月から2月にかけて、制作に挑戦しました。①木に彫りたいテーマの図を描き込む、②糸のこで切り込みを入れる、③①で描いた線に沿って木を削る。

中でも、②糸のこでの切り込みで刃を折ることが多かったのですが、形がはっきりしてくると楽しさをより感じられるようになったようです。最後に着色して、人の立ち姿や犬、ネコ、ウサギ、パンダ、ゴリラなどの動物の座っている姿など、児童のみなさん一人ひとりの思いの詰まった、世界に一つだけの「こっば人形」が完成しました。令和8年2月には校内に展示し、全校児童やお家の人にお披露目されました。児童のみなさんは今回の学びや経験を通じて、地域の文化の豊かさや魅力、ものづくりの楽しさを、より深く実感したと思います。

取材協力：上田市立東塩田小学校 教諭 水熊久美子
※当財団は、材料費の一部などを助成しました。



完成したこっば人形1



材料を削る様子



完成したこっば人形2

「今田人形」を披露 飯田市立龍江小学校

飯田市立龍江小学校では、300年以上受け継がれる地域の伝統芸能で、国の選択無形民俗文化財である「今田人形」に、高学年の課外活動「龍江小学校今田人形クラブ」を通じて取り組んでいます。

「今田人形」は3人で1体の人形を操る人形浄瑠璃です。「主遣い」は高下駄を履いてかしらと右手を、「左遣い」は左手を、「足遣い」は足をあやつります。体力も必要なおえ、3人の息が合わなければ、人形は一体として動きません。お芝居の中で感情を表現するために、人形の顔の向きや手の所作の微妙な調節も求められます。

「龍江小学校今田人形クラブ」のみなさんは、6月から、猛暑の夏も肌寒い秋も、熱心に練習に取り組みました。地域で活

躍される「今田人形座」や「保存会」の方にご指導いただき、冬を迎えるころには、講師の方々にも認めていただけるほど「人形遣い」が上達しました。

2月には、地区の「龍江芸能祭」と「校内発表会」で、練習してきた演目「傾城阿波鳴門」を披露し、たいへんな喝采をいただきました。

今田人形は幾たびの存亡の危機を脱し、現代に継承されている貴重な文化です。龍江小学校の児童のみなさんは今回の学びや経験を通じて、地域の文化の豊かさや魅力、地域の繋がりや歴史を、より深く実感したと思います。

取材協力：飯田市立龍江小学校 担当 中村一男
※当財団は、講師への謝礼などを助成しました。



龍江芸能祭での熱演



練習の様子



熱演を見守る地元のみなさん